日野町監査委員告示第7号

地方自治法第199条第1項および第2項に基づき、令和6年度に実施した定期監査結果を別紙のとおり公表する。

令和7年3月27日

日野町代表監査委員 東 源一郎

定期監査結果

1. 監査日時および 令和6年8月29日（木）午前10時37分～11時38分
監査場所 日野町役場 4階 監査委員室
2. 実施監査委員 東 源一郎 ・ 川東 昭男
3. 監査対象機関 学校教育課
4. 監査対象 学校教育課の分掌する事務全般についておよび次の事項について
主たる監査事項 ○今後の各小中学校児童生徒数の推移と施設の方向性について
5. 監査手続 令和6年度監査計画に基づき資料の提出を求め、所属長および担当者から説明を受け、質疑応答を交え実施した。

6. 監査の結果 当町の出生者数は微減で推移していたものがここ2年で一気に減少し、今後の小学校児童数も減少の一途を辿る見込みである。小学校は西大路小学校を除いては減る傾向にあり、今まで一定した児童数を保っていた日野小学校もこの先は急激に落ち込むとの予測であった。

児童数は減っても、学びの保障と施設の維持管理業務は必要なものであり、今後も児童が安全に、安心して学べる施設整備に努められたい。

学校施設については、令和2年に策定された「日野町学校施設の長寿命化計画」により、計画的な施設の長寿命化の方向性を出されているが、今後、児童生徒数の減少が現実視されるなか、特に小学校の在り方を本格的に検討する時期が迫ってくると思われる。検討にあたっては、児童にとって適切な教育環境の確保を基本にしつつ、地域の意向、保護者の意見を聴取し、加えて町の財政状況を十分考慮したうえで検討されることが望まれる。

子どもは次世代を担う「日野のたから」であり、学校施設は基本的な教育条件の一つである。子どもの健やかな成長、教育水準の維持向上の観点からも、快適で豊かな施設環境の構築に引き続き努められたい。